降り注ぐ柔らかな陽射しが、春の訪れを感じさせてくれる、今日の良き日、193名の新入生の皆さん、入学おめでとう。

今日から、皆さんは、この伝統ある北中学校の生徒として、第一歩を踏み出しました。先輩達や先生達も、皆さんの入学を心から歓迎致します。

また、本日、ご臨席の栄を賜りましたご来賓の皆様方には、公私何かとご多用のところ、式典にご光彩を添えていただき、新入生の入学を祝福いただきますこと、高壇からではございますが、職員を代表し、厚く御礼申し上げます。

さて、新入生の皆さん、中学校の3年間は、体も心も、一生のうちで最も成長する時期です。また、皆さんが大人になるための基礎を作る大切な時期でもあります。

今、そのスタートラインに立っている皆さんに、今日は、3つのことをお話します。

1つ目は、「自分の目標を持ち、本気で挑戦・チャレンジしよう」ということです。

目標を持つことは、前向きな自分を創ってくれます。勉強や部活、行事など、様々な学習や体験を通して、いろいろなことに挑戦し、自らを成長させ、自分の可能性をどんどん広げていってほしいと思います。そのために、一歩踏み出す勇気を忘れないでください。

失敗を恐れていては新しいことは何もできません。たとえ、うまくいかなかったとしても、苦勞したからこそ得られる大切なものがあります。本気で取り組む、色々と工夫してみる、一人で難しかったら周りの人の助けを借りてチャレンジしていく、そんな気持ちで、目の前にある壁を、一つ一つ乗り越えていってほしいと思います。

「挑戦・チャレンジする」ことによって、出会える新たな「発見」や「感動」はきっとあなたの「自信」や「勇気」となって、次のステップに向かうあなたの力になります。

2つ目は、「人の気持ちを考え、自ら行動できる人になろう」ということです。

誰もが自分の気持ちや持てる力を思いっきり表現したい、安心できる居場所がほしい、へこんでいる時は誰かの支えがほしい・・・そんな願いを持って、皆学校に通って来ます。

その願いを叶えるのは、誰でもない、皆さん一人ひとりであり、そんな皆さんが創る学級、そして学校です。

友だち・なかまの思いを聴きましょう。相手の気持ちを自分に置き換えて想像し、人の気持ちを考えられるようになりましょう。一人一人の思いを受け止められる雰囲気をつくりましょう。

そして、今、自分がやらなければならないこと、今、自分にできることを考えて、自ら行動できる人になってほしいと思います。

最後の3つ目は、「感謝の気持ちを忘れずに」ということです。

人は誰も一人では生きていきません。誰かに、支えられ、見守られて、今、そこに座っています。

家族や友だちや先輩や地域の方々など、皆さんが中学校生活を送る中で、お世話になる人たちへの、感謝の気持ちを忘れず、そして、その気持ちを伝えられる人になってください。

学校の授業でも、わからないことが、なかまの一言で「そうか!」「わかってきた!」という場面が必ずあります。「ヒントくれてありがとう」「おかげでわかってきたわ」と自然に言えるととてもいいと思います。

心から「ありがとう」と言える人、また「ありがとう」と言ってもらえる人になって、仲間の輪をどんどん広げながら、誰もが居心地の良い北中学校を、皆さん自身の手で創っていつてくれることを願っています。

みなさんには「無限の力」があります。「感動ある北中学校」「互いに感謝できる北中学校」「そしてともに成長していける北中学校」となるように、先生方と共に頑張りましょう。

最後になりましたが、保護者の皆様、本日は、お子様のご入学、誠にありがとうございます。

本日より三年間、大切なお子様をお預かりさせていただく訳ですが、皆様のご期待に応えるべく、私ども教職員一同、全力を尽くして参ります。お子様の「自立」や「健やかな成長」のためには、学校と家庭がそれぞれの役割を果たしながら、共に連携させていただくことが何よりも大切であると考えます。

どうか、温かいご理解・ご協力をよろしくお願い申し上げます。

それでは、新入生の皆さんの健康を祈り、今後の活躍を大いに期待して、お祝いの言葉と致します。がんばってください。

終わります